

第1章 区有施設等の状況

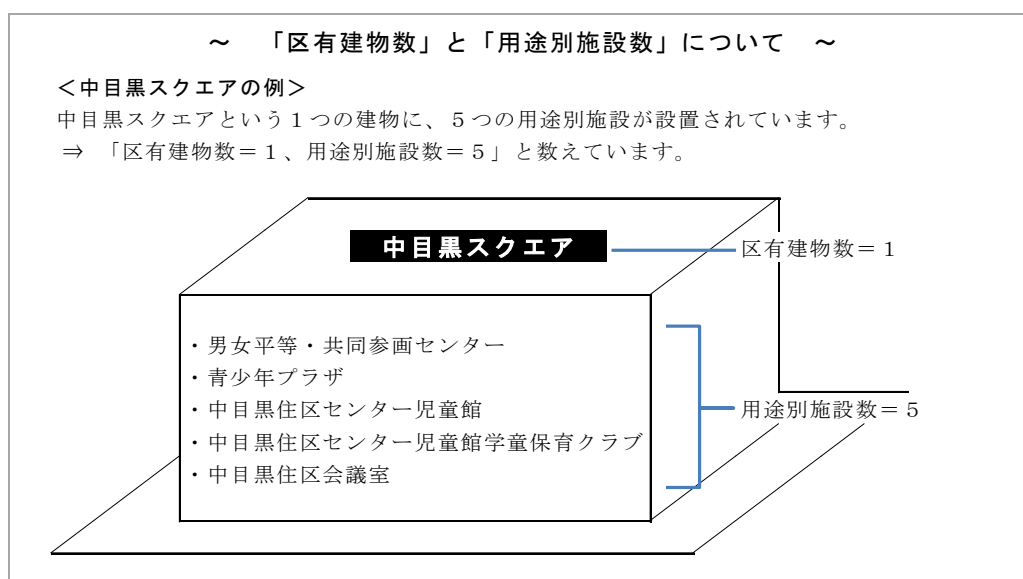
1 施設数

令和6年3月末現在、区が保有する建物は187あり、住区会議室、老人いこいの家など用途別の施設数は324（借り上げ施設を含む）となっています。

区有施設の延床面積は約52.6万㎡、これに借り上げ施設の延床面積約0.6万㎡をあわせると、総延床面積は約53.2万㎡となっています。

<令和6年3月31日現在の施設数等>

建物数	用途別施設数	延床面積
187	324	約53.2万㎡



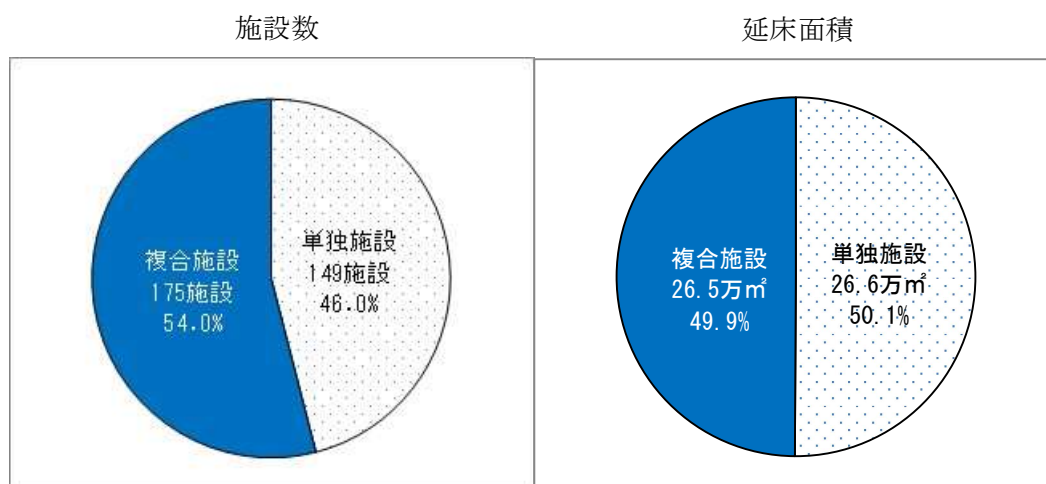
<用途大分類ごとの延床面積の割合>

施設大分類 延床面積



また、施設形態別に見ると、単独施設が 149 施設（46.0%）、複合施設（複数の異なる機能の区有施設を一つの建物にまとめた施設）が 175 施設（54.0%）となっています。

延床面積では、単独施設が 26.6 万㎡（50.1%）、複合施設 26.5 万㎡（49.9%）となっています。



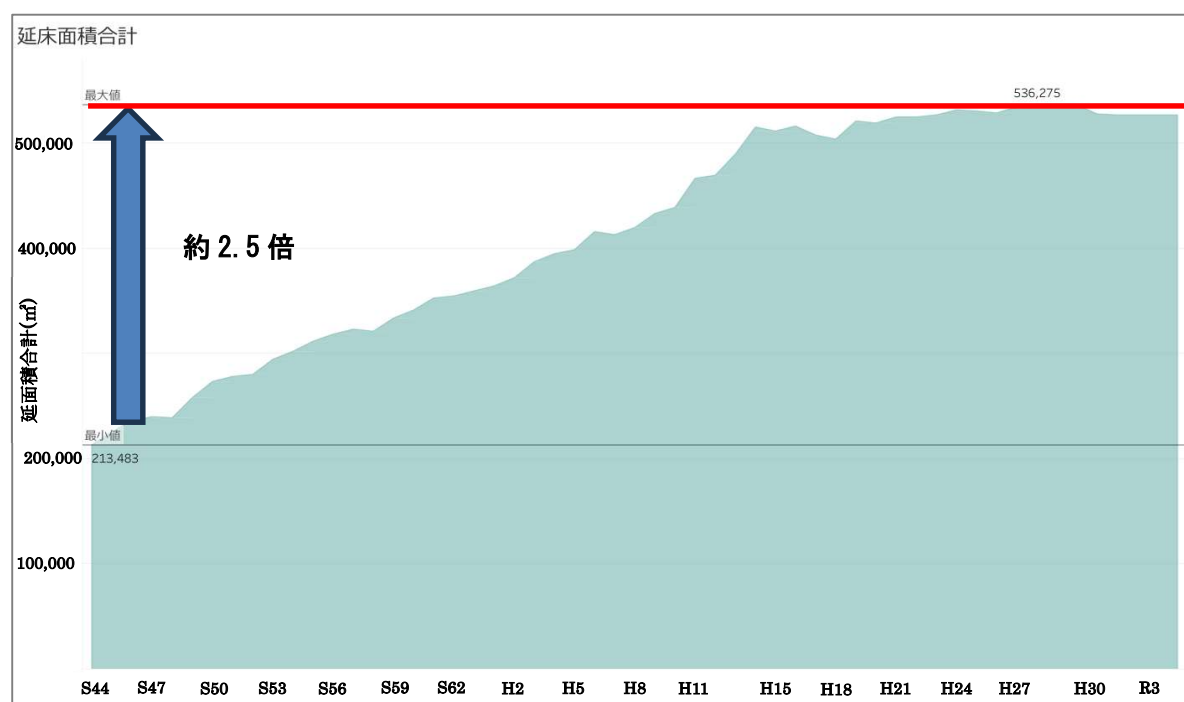
2 延床面積の推移及び老朽化の進行状況

（１）延床面積の推移

目黒区では、高度経済成長期から、人口増加などに伴い区民ニーズなどに的確に対応するために、また、法令等に基づき、計画的に様々な施設の整備を進めてきました。

昭和 44 年当時の区有施設の延床面積は約 21.3 万㎡で、現在では当時の約 2.5 倍程度となっています。

＜延床面積の推移＞



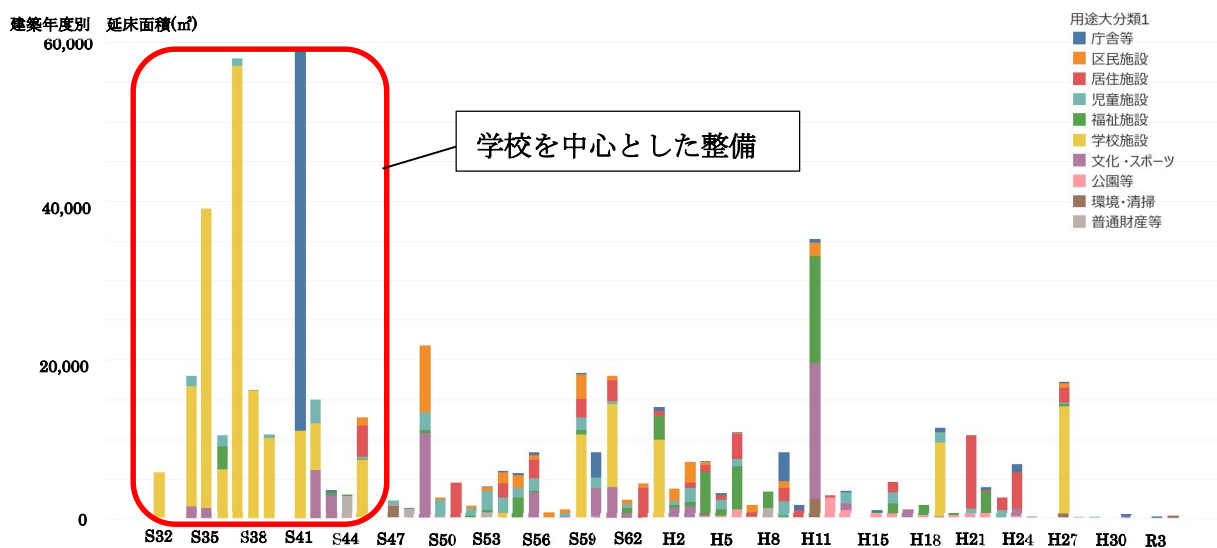
資料：「財産に関する調書」（※公衆便所等の小規模な施設も含む。）

※ 借り上げ施設を除く。

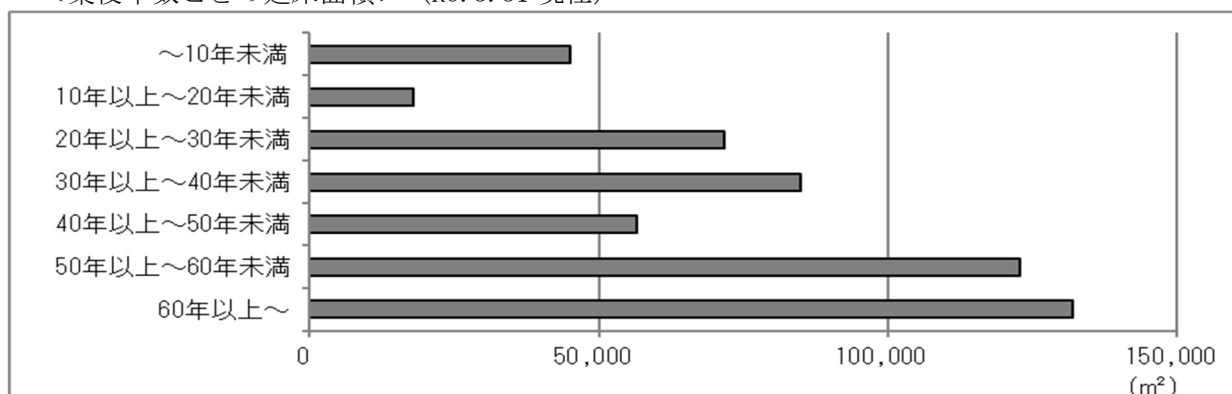
(2) 老朽化の進行状況

昭和 30～40 年代に建築された施設が多く、学校施設などの老朽化が進んでいます。

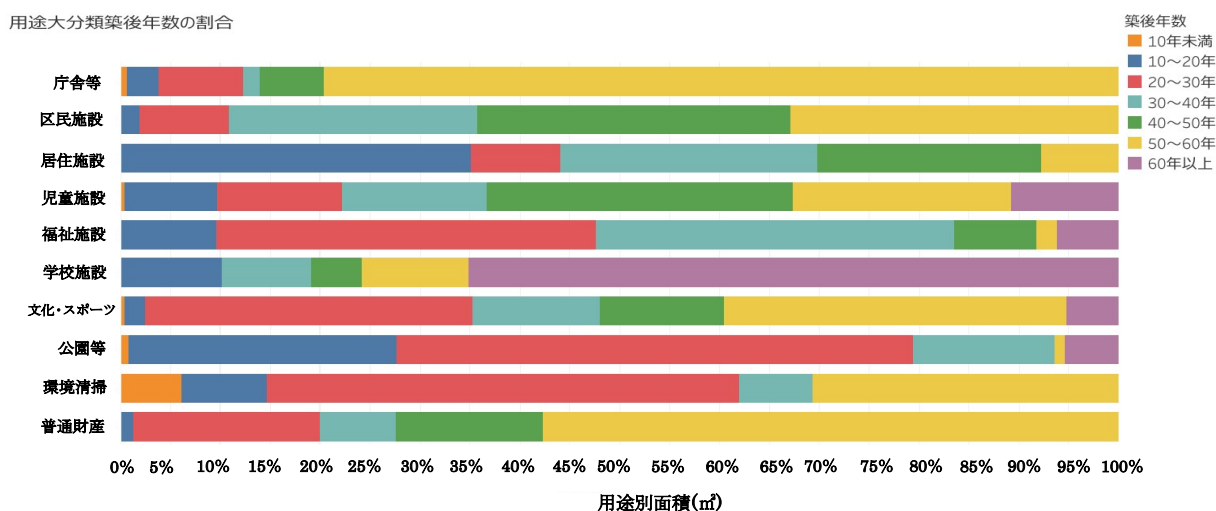
< 建築年度ごとの延床面積 > (R6. 3. 31 現在)



< 築後年数ごとの延床面積 > (R6. 3. 31 現在)



< 用途大分類ごとの築後年数の状況 (割合) > (R6. 3. 31 現在)



※ 借り上げ施設を含む。

※ 建築年度の異なる複数の棟で構成されている施設（小・中学校など）については、最も古い棟の建築年度を当該施設の建築年度とみなして集計しています。

3 経費の状況

各年度3月末日時点の区有施設等における、歳出・歳入の状況は以下のとおりです。

(1) 歳出

区有施設における歳出は、大きく、光熱水費や工事請負費など「建物の維持管理経費」、各施設でのさまざまな行政サービスの実施に伴う「事業費」、各施設に配属されている職員の「人件費」の3つに分かれます。

令和元～5年度の歳出の推移は以下のとおりです。

(千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
建物の維持管理経費	10,347,347	9,801,302	9,085,465	9,733,985	11,113,113
事業費	6,391,364	6,935,444	7,735,322	8,083,143	8,412,267
人件費	9,128,075	9,506,445	9,331,895	9,444,870	9,437,392
合計	25,866,786	26,243,191	26,152,682	27,261,998	28,962,772

(2) 歳入

区有施設における歳入は、大きく、施設の利用に係る「施設使用料等」、施設の運営や改修等に伴う「国・都補助金」、「その他収入」の3つに分かれます。

令和元～5年度の歳入の推移は以下のとおりです。

(千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
施設使用料等 ※1	1,183,939	722,604	799,222	847,418	832,131
国・都補助金 ※2	1,021,098	560,938	530,513	553,911	611,958
その他収入 ※3	646,568	612,603	645,677	684,557	681,242
合計	2,851,605	1,896,145	1,975,412	2,085,886	2,125,331

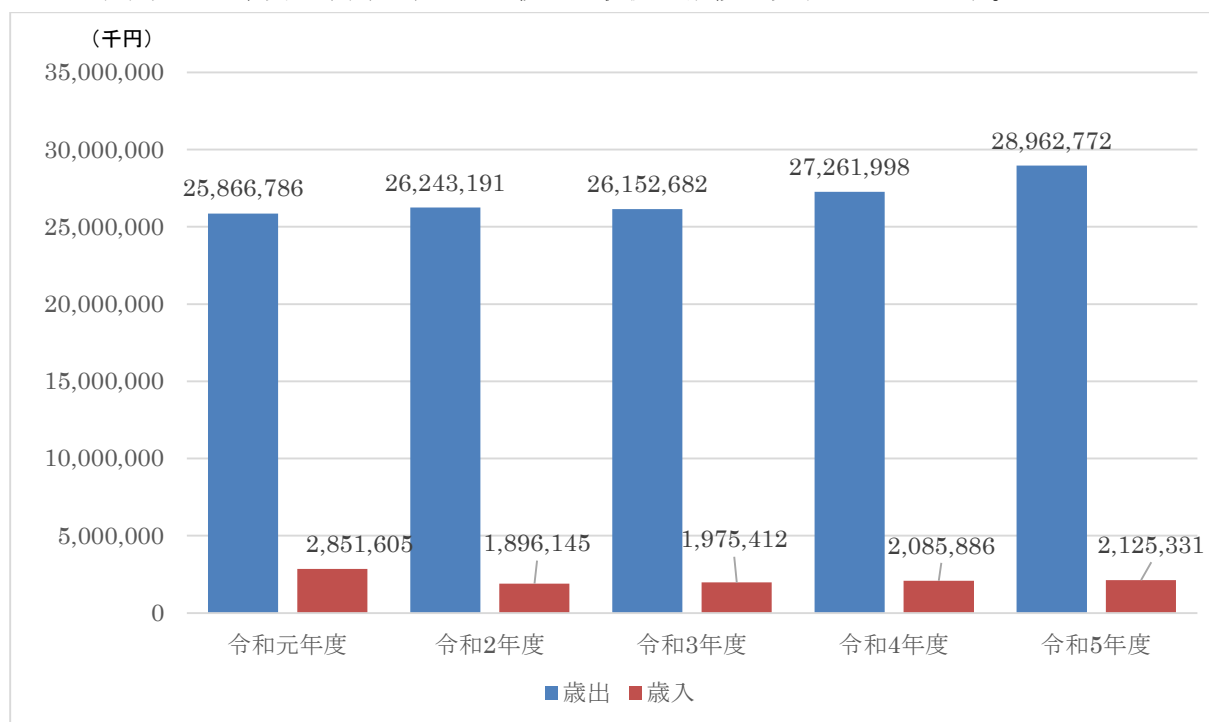
※1 公の施設使用料、手数料等の収入

※2 施設で行う事業や施設建設に対する国や都の補助金

※3 施設目的外使用許可に係る使用料、コピー使用料などの雑入等

(3) 歳出と歳入の比較

令和元～5年度の歳出と歳入を比較した状況の推移は以下のとおりです。



(千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
歳出－歳入	23,015,181	24,347,045	24,177,270	25,176,112	26,837,440